



# Azure Blob ストレージ アカウントを管理する

## Azure Blob storage

NetApp  
November 06, 2025

# 目次

Azure Blob ストレージ アカウントを管理する .....	1
NetApp Consoleで Azure Blob ストレージ アカウントを追加する .....	1
NetApp Consoleで Azure Blob ストレージ アカウント設定を変更する .....	3
プロジェクトの詳細を変更する .....	4
ストレージ アカウント内のオブジェクトのタグを追加または変更する .....	4
暗号化設定を変更する .....	4
Azure Blob ストレージでNetAppデータ サービスを使用する .....	5

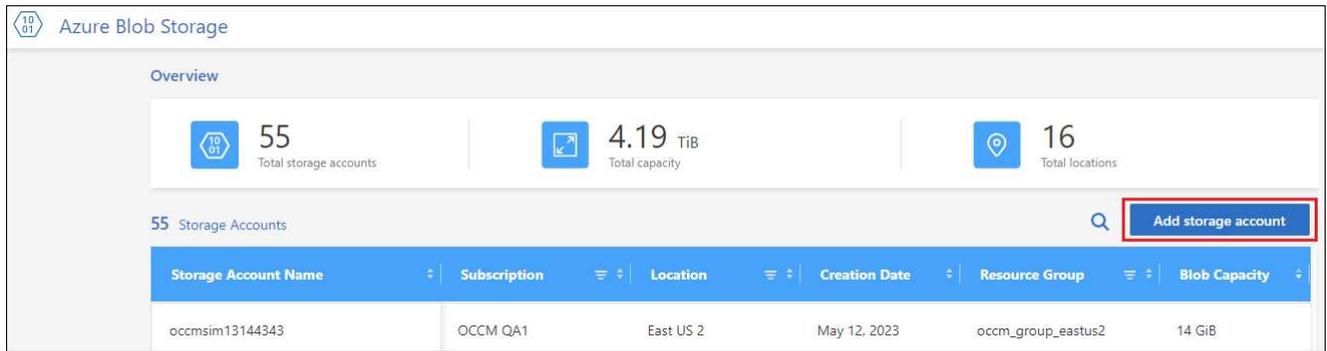
# Azure Blob ストレージ アカウントを管理する

## NetApp Consoleで Azure Blob ストレージ アカウントを追加する

Azure Blob Storage システムがNetApp Consoleのシステム ページで使用可能になったら、コンソールから直接追加のストレージ アカウントを追加できます。

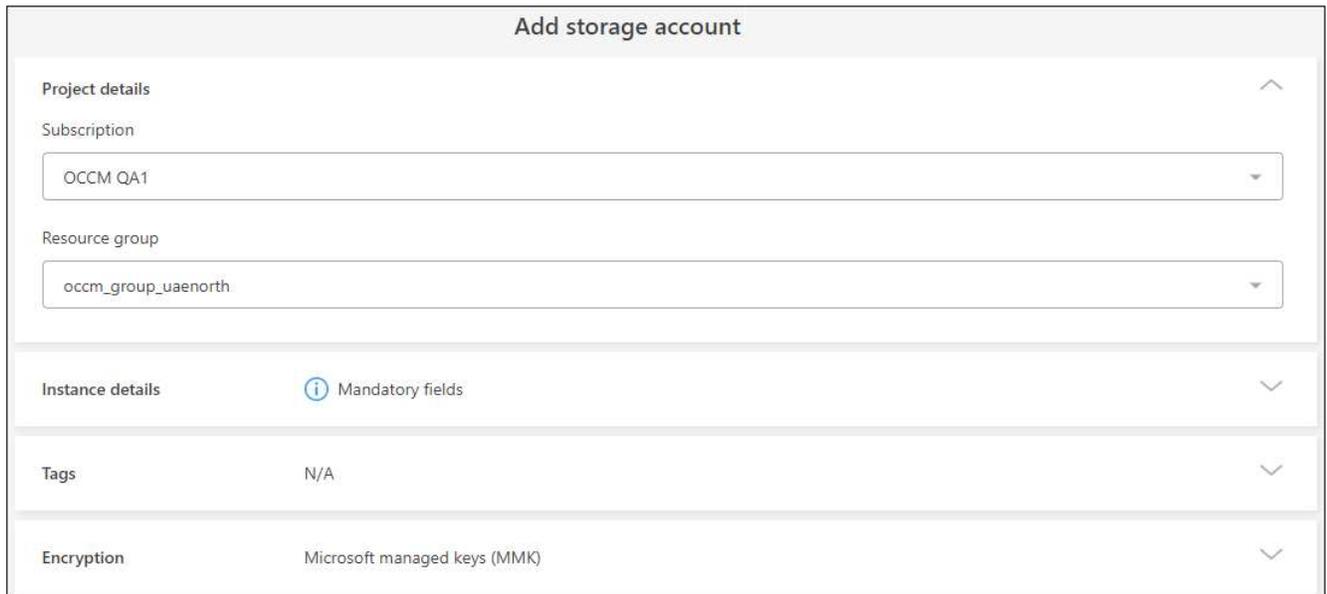
手順

1. [システム] ページで、Azure Blob Storage システムを選択し、その概要ページを表示します。
2. \*ストレージ アカウントの追加\*を選択します。



ボタンを示すスクリーンショット。"]

ストレージ アカウントの追加 ページが表示されます。



ページを示すスクリーンショット。"]

3. \_プロジェクトの詳細\_セクションに必要な情報を入力します。

フィールド	説明
Subscription	新しいストレージ アカウントの Azure サブスクリプションを選択します。
リソース グループ	このストレージ アカウントの既存のリソース グループを選択します。 <a href="#">"リソースグループの詳細"</a> 。

4. [インスタンスの詳細] セクションで、ストレージ アカウントの名前を入力し、ストレージ アカウントを作成するリージョン (複数可) を選択します。

フィールド	説明
ストレージアカウント名	ストレージ アカウントに使用する名前を入力します。名前の長さは 3 ~ 24 文字で、数字と小文字のみを含めることができます。
Azureリージョン	<p>ストレージ アカウントが作成されるリージョンをリストから選択します。</p> <p>ストレージ アカウントに適切なリージョンを選択します。 <a href="#">"Azureのリージョンと可用性ゾーンに関する情報については、Microsoftのドキュメントを参照してください。"</a>。</p> <p>すべてのリージョンで、すべての種類のストレージ アカウントまたは冗長構成がサポートされているわけではありません。 <a href="#">"Azure Storageの冗長性については、Microsoftのドキュメントを参照してください。"</a>。</p> <p>さらに、リージョンの選択によって請求額が影響を受ける可能性があります。 <a href="#">"Azure Storage アカウントの課金に関する情報については、Microsoft のドキュメントを参照してください。"</a>。</p>
パフォーマンスタイプ	<p>標準 パフォーマンス ストレージを使用するか、プレミアム パフォーマンス ストレージを使用するかを選択します。 <a href="#">"ストレージアカウントの種類については、Microsoftのドキュメントを参照してください。"</a>。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <i>Standard</i> パフォーマンスは、汎用 v2 ストレージ アカウントに使用されます。ほとんどのシナリオでは、このタイプのアカウントが推奨されます。</li> <li>• <i>Premium</i> パフォーマンスは、低レイテンシが必要なシナリオに使用されます。利用可能なプレミアム ストレージ アカウントには、ブロック BLOB、ファイル共有、ページ BLOB の 3 種類があります。</li> </ul>

5. *Tags* セクションでは、リソースをグループ化するために最大 10 個のタグのキーと値のペアを入力できません。

タグは、リソースをグループ化してアプリケーション、環境、リージョン、クラウド プロバイダーなどを識別するために使用できるメタデータです。ストレージ アカウントにタグを追加すると、オブジェクトがストレージ アカウントに追加されたときにタグがオブジェクトに適用されます。

コンソールによって作成された新しいストレージ アカウントでは、タグはデフォルトで無効になっています。 ["タグ付けについて詳しくはこちら"](#)。

6. [暗号化] セクションで、ストレージ アカウント内のデータへのアクセスを保護するために使用するデータ暗号化の種類を選択します。

データ暗号化の種類	説明
Microsoft 管理キー	デフォルトでは、データの暗号化には Microsoft が管理する暗号化キーが使用されます。
顧客管理キー	<p>既定の Microsoft 管理の暗号化キーを使用する代わりに、独自の顧客管理キーをデータ暗号化に使用できます。独自のカスタマー マネージド キーを使用する予定の場合は、このページで Key Vault とキーを選択できるように、キーをあらかじめ作成しておく必要があります。</p> <p>キーはストレージ アカウントと同じサブスクリプション内に置くことも、別のサブスクリプションを選択することもできます。</p>

Microsoft Azureのドキュメントを参照してください "[Microsoft 管理キーに関する詳細情報](#)"、そして "[顧客管理キーの詳細情報](#)"。

7. バケットを作成するには、[追加] を選択します。

## NetApp Consoleで Azure Blob ストレージ アカウント設定を変更する

Azure Blob Storage システムがシステム ページで使用できるようになると、NetApp Consoleから一部のストレージ アカウントのプロパティを直接変更できます。

ストレージ アカウント名、Azure リージョン、またはストレージのパフォーマンスの種類は変更できないことに注意してください。

変更できるストレージ アカウントのプロパティは次のとおりです。

- ストレージ アカウントのサブスクリプションとリソース グループ。
- ストレージ アカウントに追加されたオブジェクトのタグを追加、変更、または削除します。
- ストレージ アカウントに追加された新しいオブジェクトが暗号化されるかどうか、および暗号化に使用されるオプション。

これらのストレージアカウント設定は、コンソールから直接変更することができます。...ストレージ アカウント用。

Overview

483 Total storage accounts      10.08 TiB Total capacity      14 Total locations

483 Storage Accounts Add storage account

Storage Account Name	Subscription	Location	Creation Date	Resource Group	Blob Capacity	
occmgroupcanadacent	OCCM QA1	Canada Central	January 27, 2020	occm_group_canadacentral	676.87 KiB	⋮
netappbackupveah	OCCM QA1	East US 2	August 24, 2020	occm_group_eastasia	10,118 KiB	Edit project details
compliancedemo1rg	OCCM QA1	Central US	February 2, 2020	complianceDemo1-rg	795.2 KiB	Edit tags
u4yhkgkj44t9	OCCM QA1	Central US	February 3, 2020	azureCompliance-rg	603.2 KiB	Edit encryption

## プロジェクトの詳細を変更する

プロジェクトの詳細 セクションでは、ストレージ アカウントのサブスクリプションとリソース グループを変更できます。

フィールド	説明
Subscription	ストレージ アカウントに別の Azure サブスクリプションを選択します。
リソース グループ	ストレージ アカウントに別のリソース グループを選択します。 <a href="#">"リソースグループの詳細"</a> 。

保存 を選択して、ストレージ アカウントへの変更を保存します。

## ストレージ アカウント内のオブジェクトのタグを追加または変更する

タグ セクションでは、最大 10 個のタグ キー/値のペアを追加したり、タグ キー/値のペアを変更または削除したりできます。タグは、オブジェクトがストレージ アカウントに追加されたときに適用されます。さらにタグを追加する場合は、「新しいタグを追加」を選択します。

["タグ付けの詳細については、Microsoft のドキュメントをご覧ください。"](#)

保存 を選択して、ストレージ アカウントへの変更を保存します。

## 暗号化設定を変更する

Encryption セクションでは、ストレージ アカウント内のデータへのアクセスを保護するために使用するデータ暗号化の種類を変更できます。

データ暗号化の種類	説明
Microsoft 管理キー	デフォルトでは、データの暗号化には Microsoft が管理する暗号化キーが使用されます。

データ暗号化の種類	説明
顧客管理キー	<p>既定の Microsoft 管理の暗号化キーを使用する代わりに、独自の顧客管理キーをデータ暗号化に使用できます。独自のカスタマー マネージド キーを使用する予定の場合は、このページで Key Vault とキーを選択できるように、キーをあらかじめ作成しておく必要があります。</p> <p>キーはストレージ アカウントと同じサブスクリプション内に置くことも、別のサブスクリプションを選択することもできます。</p>

Microsoft Azureのドキュメントを参照してください "[Microsoft 管理キーに関する詳細情報](#)"、そして "[顧客管理キーの詳細情報](#)"。

保存 を選択して、ストレージ アカウントへの変更を保存します。

## Azure Blob ストレージでNetAppデータ サービスを使用する

NetApp Consoleで Azure Blob ストレージ アカウントを検出したら、バックアップ、階層化、およびデータ同期にNetAppデータ サービスを使用できます。

- \* NetApp Backup and Recovery\* を使用して、オンプレミスのONTAPおよびCloud Volumes ONTAPシステムから Azure Blob ストレージにデータをバックアップします。

開始するには、「システム」ページに移動します。オンプレミスのONTAPまたはCloud Volumes ONTAPシステムを Azure Blob Storage システムにドラッグ アンド ドロップします。

["ONTAPデータを Azure Blob ストレージにバックアップする方法の詳細"](#)。

- \* NetApp Cloud Tiering\* を使用して、オンプレミスのONTAPクラスターから Azure Blob ストレージに非アクティブなデータを階層化します。

開始するには、「システム」ページに移動します。オンプレミスのONTAPシステムを Azure Blob Storage システムにドラッグ アンド ドロップします。

["ONTAPデータを Azure Blob ストレージに階層化する方法の詳細"](#)。

- \* NetApp Copy and Sync\* を使用して、Azure Blob ストレージ アカウントとの間でデータを同期します。

開始するには、「システム」ページに移動します。ソース システムをターゲット システムにドラッグ アンド ドロップします。Azure Blob Storage システムは、ソースまたはターゲットのいずれかになります。

また、Azure Blob ストレージ システムを選択し、[サービス] パネルから [コピーと同期] を選択して、Azure Blob ストレージ アカウントとの間でデータを同期することもできます。

["コピーと同期について詳しく見る"](#)。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。